

学校機能評価委員会報告

< Report from the College Evaluation Committee >

本委員会では「学校機能評価規程」に基づき活動を行ってきた。この数年で自己点検評価と学校関係者評価委員会を軸に、年間の PDCA サイクルが回るようになり、教育の質向上・業務改善に結びつけている。

1. 学校機能評価委員会の取り組み

- (1) 学校関係者評価委員会（6月）を実施して外部委員の方々との意見交換を行った。学校関係者評価委員会報告については別途報告書をまとめ公開している。
- (2) 2022年度の重点項目と担当者を決めて改善に取り組んだ。前期終了後に進捗状況の確認を行い、年度末に各担当者が取り組み状況報告書を作成することにより成果を検証したので以下に記載する。

2. 2022年度重点項目への取り組み成果

(1) 入学者増

学校認知度の向上を図るため、各種 SNS で定期的な情報発信や、イベント等、地域貢献事業を推進した。また高校との連携を図るため、高校訪問や連携講座、高校ガイダンス等へ参加した。

コロナ禍が長期化し、対面形式が制限されるなかで、高校生や保護者のニーズに合わせた情報発信をいかにタイムリーかつスムーズに実施するかが焦点となったが、入学者増とはならず、アフターコロナに向け更なる検討が必要である。

(2) 国家試験合格率 100%達成、国家試験対策教育の充実

4年生へは早期から学習開始できるよう学習アプリや動画コンテンツを活用した国家試験勉強を導入した。また1～3年生の低学年へも e-Learning を活用した国家試験勉強を導入し、全学年で1年間継続して取り組めた。

第58回国家試験では、OT学科は7/8名(87.5%)、PT学科は名23/26名(88.5%)であった。次年度に向けて改善計画に基づき、合格率100%を目指す。

(3) コロナ対策の徹底、脱コロナに向けた取り組み

検温報告・健康管理の周知徹底をスマホアプリの Push 通知機能を用いて行なった。また、報告のない学生に対して適宜指導を行なった。これまで学内においてクラスター発生なし。

同時に脱コロナに向け、コロナ対策の徹底の下、サークル活動の再開を許可、地域貢献事業も山口県および宇部市の依頼あった事業より再開した。学生ボランティアも順次再開した。また3月に2019年以来の学園祭を試験的に実施した。